

# 2018 解析 1 演習

## 第 6 回

2018 年 6 月 1 日

### 1 問題

1.  $(X, \mathcal{M})$  を可測空間,  $f, g$  を  $(\mathcal{M}, \mathcal{B}(\overline{\mathbb{R}}))$  - 可測とする.  $f \wedge g, f \vee g$  が  $(\mathcal{M}, \mathcal{B}(\overline{\mathbb{R}}))$  - 可測であることを示せ.

2.  $(X, \mathcal{M}_j), (Y, \mathcal{B}_l), (j = 1, 2)$  を可測空間とし,  $\mathcal{M}_1 \subset \mathcal{M}_2, \mathcal{B}_1 \subset \mathcal{B}_2$  とする.  $f: X \rightarrow Y$  が  $(\mathcal{M}_1, \mathcal{B}_2)$  - 可測であるならば  $(\mathcal{M}_2, \mathcal{B}_1)$  - 可測であることを示せ.

3.  $(X, \mathcal{M})$  を可測空間とする.  $\{f_n\}_{n=1}^{\infty}$  を  $X$  上の  $\mathbb{R}$  値関数列とし, . 各  $f_n$  は  $(\mathcal{M}, \mathcal{B}(\overline{\mathbb{R}}))$  - 可測とする. また,

(1)  $A_1 = \{x \in X \mid \lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) \text{ が } \mathbb{R} \text{ に存在する}\}$  は  $\mathcal{M}$  - 可測集合であることを示せ.

(2)  $A_2 = \{x \in X \mid \lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) = \infty\}$  は  $\mathcal{M}$  - 可測集合であることを示せ.

(3)  $A = \{x \in X \mid \lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) \text{ が } \overline{\mathbb{R}} \text{ に存在する}\}$  は  $\mathcal{M}$  - 可測集合であることを示せ. ( $\overline{\mathbb{R}} = \mathbb{R} \cup \{\pm\infty\}$  であることに注意せよ.)

4.  $(\mathbb{N}, 2^{\mathbb{N}}, \mu)$  を数え上げ測度  $\mu$  の測度空間とする.

(1) 任意の関数  $f: \mathbb{N} \rightarrow \mathbb{C}$  は  $2^{\mathbb{N}}$  - 可測であることを示せ.

(2) 関数  $f: \mathbb{N} \rightarrow \mathbb{C}$  が  $\mu$  - 可積分であるとき,  $\int_{\mathbb{N}} f(x) \mu(dx)$  はどのようなものか. 必要ならば  $a_k = f(k)$  と置いて考察せよ.

Recall: 積分の定義

一般に非負  $\mathcal{M}$  - 可測関数  $f$  に対して,  $\int_X f d\mu := \lim_{n \rightarrow \infty} \int_X f_n d\mu$ . ここで, 関数列の条件として  $\{f_n\}_{n=1}^{\infty}$  は非負単関数列で,  $\forall x \in X$  に対し,  $f_n(x) \leq f_{n+1}(x)$  かつ  $\lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) = f(x)$  を満たしている.

## 2 解答

### 2.1

1.  $(X, \mathcal{M})$  を可測空間,  $f, g$  を  $(\mathcal{M}, \mathcal{B}(\overline{\mathbb{R}}))$  - 可測とする.  $f \wedge g, f \vee g$  が  $(\mathcal{M}, \mathcal{B}(\overline{\mathbb{R}}))$  - 可測であることを示せ.

答.

$a \in \mathbb{R}$  に対し,

$$\{x \in X \mid (f \wedge g)(x) > a\} = \{x \in X \mid f(x) > a\} \cap \{x \in X \mid g(x) > a\}$$

及び,

$$\{x \in X \mid (f \vee g)(x) > a\} = \{x \in X \mid f(x) > a\} \cup \{x \in X \mid g(x) > a\}$$

から,  $f, g$  が  $(\mathcal{M}, \mathcal{B}(\overline{\mathbb{R}}))$  - 可測であるならば命題 4.1 (可測関数の同値な条件) から,  $f \wedge g, f \vee g$  もそうである.

### 2.2

2.  $(X, \mathcal{M}_j), (Y, \mathcal{B}_i), (j = 1, 2)$  を可測空間とし,  $\mathcal{M}_1 \subset \mathcal{M}_2, \mathcal{B}_1 \subset \mathcal{B}_2$  とする.  $f : X \rightarrow Y$  が  $(\mathcal{M}_1, \mathcal{B}_2)$  - 可測であるならば  $(\mathcal{M}_2, \mathcal{B}_1)$  - 可測であることを示せ.

解答.

*Proof.* 任意の  $B \in \mathcal{B}_1$  に対して,  $B \in \mathcal{B}_2$  であるので

$$f^{-1}(B) \in \mathcal{M}_1 \quad \therefore f^{-1}(B) \in \mathcal{M}_2$$

これにより,  $f$  は可測関数の定義を満たし,  $(\mathcal{M}_2, \mathcal{B}_1)$  - 可測である. □

(復習 定義 4.1 可測関数)

$(X, \mathcal{M}), (Y, \mathcal{B})$  を可測空間とする. ( $\mathcal{M}, \mathcal{B}$  は  $\sigma$  加法族)

関数  $f$  が  $(\mathcal{M}, \mathcal{B})$  - 可測であるとは, 任意の  $A \in \mathcal{B}$  に対して,  $f^{-1}(A) \in \mathcal{M}$  が成り立つことである. (つまり可測集合の逆像も可測集合となるような関数  $f$  である)

### 2.3

3.  $(X, \mathcal{M})$  を可測空間とする.  $\{f_n\}_{n=1}^{\infty}$  を  $X$  上の  $\mathbb{R}$  値関数列とし, . 各  $f_n$  は  $(\mathcal{M}, \mathcal{B}(\overline{\mathbb{R}}))$  - 可測とする. また,

(1)  $A_1 = \{x \in X \mid \lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) \text{ が } \mathbb{R} \text{ に存在する}\}$  は  $\mathcal{M}$  - 可測集合であることを示せ.

(2)  $A_2 = \{x \in X \mid \lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) = \infty\}$  は  $\mathcal{M}$  - 可測集合であることを示せ.

(3)  $A = \{x \in X \mid \lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) \text{ が } \overline{\mathbb{R}} \text{ に存在する}\}$  は  $\mathcal{M}$  - 可測集合であることを示せ. ( $\overline{\mathbb{R}} = \mathbb{R} \cup \{\pm\infty\}$  である)

ことに注意せよ.)

解答.

(1)

$\lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x)$  が  $\mathbb{R}$  に存在する  $\Leftrightarrow \{f_n(x)\}_{n=1}^{\infty}$  が  $\mathbb{R}$  の Cauchy 列

$\Leftrightarrow$  任意の  $k \in \mathbb{N}$  に対し, ある  $N_k \in \mathbb{N}$  が存在して,  $|f_n(x) - f_m(x)| < \frac{1}{k}$  ( $n, m \geq N_k$ )

よって,  $A_1 = \bigcap_{k=1}^{\infty} \bigcup_{l=1}^{\infty} \bigcap_{n, m \geq l} \{x \in X \mid |f_n(x) - f_m(x)| < \frac{1}{k}\}$

とかける.

$\{x \in X \mid |f_n(x) - f_m(x)| < \frac{1}{k}\}$  について, 可測関数の差, 絶対値は可測関数であり, これは  $\mathcal{M}$ -可測集合.  $\sigma$  加法族の性質から, 可測集合の高々可算個の和及び共通部分もまた可測集合なので  $A_1$  は  $\mathcal{M}$ -可測集合である.

(2)

$\lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) = +\infty \Leftrightarrow$  任意の  $k$  に対して, ある  $N_k$  が存在して,  $f_n(x) \geq k$  ( $n \geq N_k$ )

よって,  $A_2 = \bigcap_{k=1}^{\infty} \bigcup_{l=1}^{\infty} \bigcap_{n \geq l} \{x \in X \mid f_n(x) \geq k\}$

(1) と同様に  $\{x \in X \mid f_n(x) \geq k\}$  は  $\mathcal{M}$ -可測集合. なので  $A_2$  も可測集合.

(3)

$A_3 = \{x \in X \mid \lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) = -\infty\}$  とおけば,

$A_3 = \bigcap_{k=1}^{\infty} \bigcup_{l=1}^{\infty} \bigcap_{n \geq l} \{x \in X \mid f_n(x) \leq -k\}$

$A_1 A_2$  と同様にこれは  $A_3$  は  $\mathcal{M}$ -可測集合である.

$A = A_1 \cup A_2 \cup A_3$  であり, 可測集合の可算和は可測集合なので,  $A \in \mathcal{M}$

## 2.4

4.  $(\mathbb{N}, 2^{\mathbb{N}}, \mu)$  を数え上げ測度  $\mu$  の測度空間とする.

(1) 任意の関数  $f: \mathbb{N} \rightarrow \mathbb{C}$  は  $2^{\mathbb{N}}$ -可測であることを示せ.

(2) 関数  $f: \mathbb{N} \rightarrow \mathbb{C}$  が  $\mu$ -可積分であるとき,  $\int_{\mathbb{N}} f(x) \mu(dx)$  はどのようなものか. 必要ならば  $a_k = f(k)$  と置いて考察せよ.

Recall: 積分の定義

一般に非負  $\mathcal{M}$ -可測関数  $f$  に対して,  $\int_X f d\mu := \lim_{n \rightarrow \infty} \int_X f_n d\mu$ . ここで, 関数列の条件として  $\{f_n\}_{n=1}^{\infty}$  は非負単関数列で,  $\forall x \in X$  に対し,  $f_n(x) \leq f_{n+1}(x)$  かつ  $\lim_{n \rightarrow \infty} f_n(x) = f(x)$  を満たしている.

解答

(1)  $\forall B \in \mathcal{B}(\mathbb{C})$  に対して,  $f^{-1}(B)$  は  $\mathbb{N}$  の部分集合より,  $f^{-1}(B) \in 2^{\mathbb{N}} \therefore f$  は  $2^{\mathbb{N}}$ -可測

$$(2) \int_{\mathbb{N}} f(x) \mu(dx) = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n a_k \text{ である.}$$

*Proof.*  $f$  が非負値関数とする.  $n \in \mathbb{N}$  に対して,

$$f_n(m) = \sum_{k=1}^n a_k \chi_{\{k\}}(m) \quad \forall m \in \mathbb{N}$$

とおく.

$f_n : \mathbb{N} \rightarrow [0, \infty)$  は単関数. また, 各  $m \in \mathbb{N}$  について,  $f_n(m) \leq f_{n+1}(m)$  であり,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} f_n(m) = f(m) \quad (f_n \text{ の定義により, } m = k \text{ (つまり } m \in \{k\} \text{) のときしか } f_n(m) \text{ は値を持たない.})$$

$$\text{よって, } \int_{\mathbb{N}} f d\mu = \lim_{n \rightarrow \infty} \int_{\mathbb{N}} f_n d\mu = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n a_k \mu(\{k\})$$

今,  $\mu$  は数え上げ測度より,  $\mu(\{k\}) = 1$  なので

$$\int_{\mathbb{N}} f(x) \mu(dx) = \int_{\mathbb{N}} f d\mu = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n a_k$$

□